



年 組 名前

# 道新でワークシート

## 岩見沢―美唄 IC 自動除雪車を運用

### 東日本高速、今冬から



東日本高速道路が今冬から運用を始める自動除雪車（同社提供）

東日本高速道路は25日、今冬から道央道の岩見沢インターチェンジ（IC）―美唄IC間で自動除雪車2台の運用を開始すると発表しました。進大頂衛星「みちびき」からの位置情報などを活用し、走行や作業の操作

を自動化。深刻な人手不足が課題となっている除雪作業の効率化を図る。

同社は熟練作業員の高齢化や労働人口減少に伴う担い手不足に対応するため、除雪車の乗員を2人から1人に削減することなどを目指し、自動運転支援システムを開発。道内で作業員がハンドルから手を離しても除雪車が指定のルートを走行する実験を重ねていた。ハンドルやレバーなどに触れることなく、正確な走行と除雪作業が可能になったという。

同社によると、当面は自動除雪車の乗員を2人とし、天候や交通状況などに応じた乗員数を検証する。（本庄彩芳）

2023年10月26日（木）朝刊 全道版 2ページ（記事は再編集しています）

- ① 岩見沢ICから美唄ICの区間の距離（きょり）は約何kmでしょうか。  
自分の地図帳（ちずちょう）を使って測（はか）りましょう。
- ② 自動除雪車（じよせつしゃ）には、2つの自動化技術（ぎじゅつ）が含（ふく）まれています。  
それは何と何でしょうか。
- ③ 大雪からくらしを守るためには、一般道（いっぱんどう）でも自動除雪車が使えるようになった方が望（のぞ）まれます。しかし、一般道ではまだ自動除雪が難（むずか）しい状況（じょうきょう）です。  
なぜ、難しいのか理由を考えましょう。